

受理年月日	平成27年9月16日	付託年月日	平成27年9月18日	所管委員会	第2委員会
番号	27年 請願 第16号				
件名	子ども・子育て支援新制度に伴う、保育の質の向上を目指す取り組みについて				
請願者	中央区荒戸三丁目3-39 一般社団法人福岡市保育協会 理事長 古賀 貞雄				
紹介議員	光安、阿部(真)、打越、今林、大森、森(英)、富永(計)、川上(陽)、南原、中島、飯盛、大原、福田、稲員、川上(晋)、橋田、津田、堤田、調、山口、大坪、楠、笠、藤本、国分、三角、平畑、鬼塚、川口、新村、中山、倉元、堀内、ひえじま、綿貫、熊谷、星野、池田、落石、栃木、阿部(正)				
分割付託	なし				
要旨	<p>27年度より、子ども・子育て支援新制度がスタートしていますが、これは、子ども・子育て支援法など子ども・子育て関連3法に基づく制度であり、その目的の中には質の高い保育の総合的な提供、また保育の量的拡大、質的改善などが挙げられています。</p> <p>しかし、子ども・子育て支援新制度は、昨年未から市町村に詳細が示され、本年1月に市保育協会に説明が行われるなど、性急過ぎる新制度の導入に伴い、各保育園での受け入れに支障を来しています。</p> <p>今までの補助金制度についても、現在も協議が調っていない状況が続き、高島市長が6月議会終了後に実施すると明言された外部委員会による補助金のあり方検討も8月から開始され、報告のめども立っておらず、保育の現場では混乱が生じています。</p> <p>我々、市保育協会は、今まで、本市と時には議論を重ね、時には協働歩調で、さまざまな保育行政課題の解決に向けて努力してきました。</p> <p>このように、新制度に対しても、誰もが安心してひとしく保育を受けられる仕組みづくりとして、多様な子育てニーズに対応するためにも、保育の質の向上を目指す本市独自の福岡方式として、保育士の処遇改善や労働環境整備を推進すべきと考えます。</p> <p>そのためには、市保育協会と一刻も早い協議の再開を行い、本市独自の支援策を講じるようお願いいたします。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新制度導入に伴い、保育の質の向上を目指す施策について、市保育協会と協議の再開を行うこと。 2. 新制度の課題である多様な保育ニーズへの対応として、保育の質の向上に要する本市独自の新たな福岡方式を構築すること。 				
審査	平成 年 月 日	結 果		委員会	平成 年 月 日
年月日	平成 年 月 日			本会議	平成 年 月 日
	平成 年 月 日				

平成27年 9月16日

福岡市市議会議長

おばた 久弥 様

請願者 住所 〒810-0062

福岡市中央区荒戸3丁目3-39

福岡市市民福祉プラザ6階

氏名 一般社団法人 福岡市保育協会理事長

古賀 貞雄

印



子ども・子育て支援新制度に伴う、「保育の質」の 向上を目指す、福岡市の取り組みを求める請願

請願趣旨

平成27年度より、子ども・子育て支援新制度がスタートしておりますが、これは、子ども・子育て支援法など子ども・子育て関連3法に基づく制度であり、その目的の中には「質の高い」保育の総合的な提供、また保育の「量的拡大」「質的改善」などが挙げられています。

しかし、子ども・子育て支援新制度は、昨年末から市町村に詳細が示され、本年1月に市保育協会に説明が行われるなど、性急すぎる新制度の導入に伴い、各保育園での受け入れに支障をきたしております。

今までの補助金制度についても、現在も協議が整っていない状況が続き、高島市長が6月議会終了後に実施すると明言された外部委員会による「補助金のあり方検討」も8月から開始され、報告の目途も立っておらず、保育の現場では混乱が生じています。

我々福岡市保育協会は、今まで、福岡市と時には議論を重ね、時には協働歩調で、様々な保育行政課題の解決に向けて努力して参りました。

このように、新制度に対しても、誰もが安心してひとしく保育を受けられる仕組み作りとして、多様な子育てニーズに対応するためにも、「保育の質」の向上を目指す福岡市独自の「福岡方式」として、保育士の処遇改善や労働環境整備を推進すべきと考えます。

そのためには、保育協会と一刻も早い協議の再開を行い、本市独自の支援策を講じるようにお願いします。

請願事項

- 1 新制度導入に伴い、「保育の質」の向上を目指す施策について、保育協会と協議の再開を行うこと。
- 2 新制度の課題である多様な保育ニーズへの対応として、「保育の質」の向上に要する福岡市独自の新たな「福岡方式」を構築すること。